

農業後継者育成基金事業

平成 25 年度 就農促進対策助成事業

事業主体名 鹿児島県立伊佐農林高等学校

1 目的

優良農家や農業関係機関または農業大学校等の視察や体験学習，その他実技講習を通して，農林業に関する興味・関心を喚起し，将来の農業担い手または農林業関係従事者を育成する。

2 実施状況

(1) 「伊佐新米祭り」の実施

本校生徒が企画して、地域行政（伊佐市農政課）・農家と共同で伊佐の新米を中心とした市域の農産物をPR・販売するイベントを鹿児島市のドルフィンポートで開催した。

産学官連携した取組で、本年度で3年目のイベントである。企画，運営を体験する中で生徒の実践力が身につくにつれ，専門学習へ意欲が高まった。



(2) 「青年農業者との交流」の実施

農林技術科2年生全員と地域の青年農業者との意見交換会を実施した。今年で2年目の取り組みである。農家に実際の経営上の課題を聞いたり，農業と他の職種との相違点などについて話を聞き，農業経営への理解が深まり，進路実現へ向けての学習効果が高まった。



(3) 「農林業励ましの会」の実施

農林技術科3年生で卒業後農林業に従事する，又は進学後に農林業に従事する生徒に対して，関係機関の方々に激励していただいた。これによって，地域農林業の担い手として意識が高まった。



(4) 卒業生講話会

本校卒業生である農業大学校2年生にプロジェクト発表と進路についての講話会を実施した。本校の1.2年生と地域関係者が参加した。本校生徒及び地域関係者は農業大学校の学習内容を知ることができた。また本校生徒は進路について考える機会になった。



3 今後の課題及び取組

上記の取り組みについては，地域関係機関との連携して実施することができた。

どの内容も学校外の方々と交流することにより，生徒達は農業経営に理解を深め学習意欲向上につながった。今後も連携をさらに深めながら，地域農業を担う後継者育成に努めたい。